

平和っていいな

広島県海田町立海田小学校 三年

北島きたじま

彩羽いろは

八月六日 朝 八時十五分

ゴーン

平和のかねがなる

目を固く閉じて

家ぞくで もくとうした

ぜったい せんそうをしないでください

ぜったい ずっと平和な世界でいてください

とねがった

新聞でみた

私と同じくらいの子が

やけどでほうたいでぐるぐるまきに

なっていた

お母さんを探してずつーと歩いてた

お母さーん お母さーんって

お母さんとはなれるなんて ぜったいいや

なんだか 考えると すごくこわかった

涙がたくさんでた

その夜 お母さんにぎゅーとだきついてねた

お母さんがあつたかかった

よかった お母さんがとなりについて

ぜったい せんそうになりませんようにって

もう一回おねがいた

ずっとみてて

鹿児島県鹿児島市立原良小学校 一年

増田^{ますだ} あい

小がくせいになったよ

おねえちゃんといっしょに、

手をつないでがっこうにいくよ

おうちからがっこうまで

まっすぐのみち

ママがうしろから、まいにちみてる

わたしたちがまがるまで、ずっとみてる

わたしはいつも

「いってきます」のときだけ、手をふる

だって、

もしふりむいて、手をふったらね

「ママ！」

っていいなくなるでしょ

ママのところに、かえりたくなるでしょ

だから

おねえちゃんの手を

ぎゅってにぎってあるく

ふりむかなくてもね

ママがみてるの、わかってるよ

ママ、あしたもみてて

生まれ変わっても

兵庫県姫路市立旭陽小学校 三年

鵜飼

一有

お母さんがセミなら僕はセミの子
生まれ変わっても絶対お母さんの子

お母さんは虫に親切だ

アスファルトの上であわてているミミズを
みると

つまんで土の上に運んでやるし

道に転がっているセミをみつけると

木の下にそっと置いてやる

「何でそんなに親切なの」

つてきくと

「虫に生まれ変わるかもしれないから」
と笑う

僕は何に生まれ変わろう

お母さんがミミズなら僕はミミズの子

かえりみちに

愛知県西尾市立中畑小学校二年

稲垣 いながき

朝陽 あさひ

おまつりのかえりみち

おかあさんに

「いつもありがとう」って言ってみた

いっぱいあそんで

いっぱいいたべて

いっぱいほしいものかってもらって

すっごくたのしくて

おかあさんと手をつないであるきながら

おかあさんの手があったかくて

おかあさんの手からニコニコが

つたわってきて

ありがとうって気もちになった

ちよつとはずかしくて

ドキドキしながら言ったんだよ

だけどおかあさんは

「いいよー」って

いつもどおりのへんじ

ぼくのありがとう

ちゃんとおかあさんにとどいたかな…

おかあさんがぎゅっと手をにぎってきた

またおかあさんの手からニコニコが

つたわってきた

よかった

ちゃんとどいたみたい

ぼくは心の中でもう「かい

「おかあさん いつも ありがとう」って

言った

反こう期

岩手県北上市立黒沢尻北小学校 五年

伊藤

楽

小さい頃

私はお母さんとねるのが好き

お母さんの横で

お手々つないでねるのが好き

たまに本を読んでくれて

すぐくうれしかった

今 私は五年生

親と買い物行くときも

きよりを少しだけとって歩いている

お出かけも

外食も

なんでかちよつとはなれない

なんでかちよつとはずかしい

いつからだろう この気持ち

ある時 お母さんから

一メートルくらいはなれた時

「なんではなれるの？」と聞いてきた

「別にいいじゃん」と心の中で思った

けど 言わなかった

はずかしいの お母さん

これが私の反こう期

おかあさんとぼく

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 一年

八重やえがし櫛はるか悠

ぼくには

おにいちゃんとおねえちゃんがいる

ぼくがいちばんちいさいから

ねるときはいつもぼくが

おかあさんのとなり

おねえちゃんは、ずるいっていうけど

このぼしよは、ゆずらない

ほんとうはぎゅってしたいけど

もう一ねんせいだから

ばれないように

こつそりせなかをさわるんだ

ぼく、がんばるね

岩手県北上市立黒沢尻西小学校一年

佐々木 縁

ぼくは5にんかぞくだ

3さいと0さいのいもうとがいる

いままではみんなでねていた

いまはおかあさんと0さいの

いもうととはべつべつ

すこしさみしいときと

すごくさみしいときがあるよ

でもね、ぼく、つよくて

かつこいいおにいちゃんに

なりたいから

なかないよ

おてつだいもするよ

ぼく、がんばるね

おかあさん、だいすき

ままのかお

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 一年

高館^{たかだて}

開成^{かいせい}

にっこりわらったよ

かつこいいかみひこうきを

ほんきでおろうとしたら

しっぱいした

へんてこになったおりがみ

ひろげて、またおったら

あれ？

おかおのかたちみたい

せろはんてえぶでくつつけて

まるいめと

くちをあかでかいたら

ままのかおみたいになった

うらにままへってかいて

ままにわたしたら

おりがみとおなじかおで

ママ、だいすき

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 一年

宮澤 みやざわ

燈矢 とうや

ぼくは、あかちゃんるときから

ママがだいすき

ママは、おしごとがたくさんあるほいくえん

のせんせいとおうちのおしごと

おとうとおせわもある

でも、いつもぎゅうってしてくれたり

たくさんおはなししてくれる

いまは、おとうとに

すこしままをかしてあげるね

すこしだけだよ

おおきくなったら、

こんどはふたりでぎゅうってしようね

ママ、だいすき

ぼくのおかあさん

愛知県西尾市立中畑小学校一年

大橋 承おおはし じょう

ぼくはにほんじんと

ふいりぴんじんのハーフです

ぼくのパパはぼくが1さいのとき

びょうきでなくなりました

ぼくのママはふいりぴんじん

ママはにほんごもたがろぐごも

えいごもはなせます

いつもおんどくやけいさんカードの

しゅくだいをいつしよにやってくれる

やさしいママ

ぼくはしろいごはんとからあげがすき

ママはぼくのすきなごはんを

つくってくれるやさしいママ

ぼくはやさいがきらい

だからママはぼくがやさいを

たべるようにちいさく

きつてしろいごはんに

そつといれてくる

ほんとにいやだ

だけどぼくにごはんを

つくってくれてありがとう

だいすきママ

あったかいおでこ

岩手県北上市立南小学校 一年

照井^{てるい}

結絆^{ゆうき}

ぼくは、おかあさんのかおを
さわるのがすき。

おでこ、かみ、まゆげ

さわるとあったかい。

ねるとき、さわりたいくなる。

あかちゃんるときも

ねむたくなると、

おかあさんのかおを

さわっていたんだって。

きょうも

おかあさんのおでこ、

さわってねようかな。

ままとのあいことば

岩手県北上市立南小学校 一年

星野 ほしの

優海 うみ

ぼくとままは

いつもけんかしちゃう。

そんなときは、

まほうのことばで

なかなおり。

「ままは、うみとなかよしー。」

って、ふたりでいう。

ままはうみだいすきっていう。

ぼくもままだいすき。

なかよくなれる

まほうのことば。

みずたまり

岩手県北上市立南小学校一年

高橋^{たかはし}

まゆる

きょうはあめだ

おそとであそべない

がっかりしていたら

みずたまりにままが

じゃぼんとびこんだ

わたしも ちゃぼんとびこんだ

ままのえがおに

くもったおそらとわたしのきもちが

にじいろにひかったよ

おかあさんにほめられた

岩手県北上市立飯豊小学校 一年

伊藤

煌馬

ぼくはおとうとといっしょに

せんたくものをたたみ

へやのかたづけをした

それをみたおかあさんは

びっくりしていた

そして

「ふたりともありがとう」

といってほめてくれた

ぼくとおとうとはほめられて

すごくうれしかった

またおてつだいやろうねと

おとうととふたりだけの

やくそくをした

ひとりぼっち

岩手県北上市立黒沢尻西小学校二年

菊池

爽介

ミヤーマジャー

あさおきるとそとからなにかの声でした
そとに出てみると

小っちゃいネコがおくから

こつちを見てた

よんでみたけど来ない

ひとりぼっちかな

おかあさんはいないのかな

それからまい日家に来る

いつもひとりぼっち

おかあさんいなくてさみしくないかな

ぼくの妹は

おかあさんがいないとすぐになくから

ひとりぼっちのネコも

ないておかあさんをさがしてるのかな

おかあさんどこにいるんだろうね

ぼくがおかあさんになってあげるよ

ひいじいちゃんとひいばあちゃん

和歌山県智辯学園和歌山小学校 二年

ひがしおか 東岡 かなた 奏汰

ぼくのひいじいちゃん

九十五才で元気だよ

九十三才までお米を作ってたんだ

おにわのせていもしていたんだよ

ぼくのひいばあちゃん

九十三才で元気だよ

九十二才で足のほねをおったんだ

でもゆっくりだけど一人で歩けるよ

ひいじいちゃんはえらいよ

ひいじいちゃんがごはんを作ってる

ひいじいちゃんがせんたくをしてる

ひいじいちゃんがそうじしてる

ひいばあちゃんは何もできない

ひいばあちゃんはデイケアに行っている

ひいばあちゃんは週三日とまってくる

ひいじいちゃんは帰るのを待っている

だって一人だとさみしいから

ひいばあちゃんも帰るのが楽しみだ

だって待ってくれているから

ひいじいちゃんが昔の話をしたり

ひいばあちゃんがへんなことを言っても

おたがいの話をうなずいて聞いている

二人は元気に仲良くくらしている

ひいじいちゃん ずっと元気でね

ひいばあちゃん ずっと元気でね

二人とも百才までは生きてね

二人とも大好きだよ

ママのおまじない

岩手県北上市立飯豊小学校二年

高橋^{たかはし}

樹乃^{みきの}

よるにねるとき

ママがおまじないをしてくれる

左におとうと

右にわたしを

ギューとして

元気にすくすくそだつ

おまじない

ママが言うには

わたしが

赤ちゃんのときから

やっているらしい

でも、ママがねるのが

おそくなってしまふとき

おまじないが聞けない

ちよつとさみしいな

だから

今日は

お手つだいをがんばろうかな

だって、わたし

ママのおまじないが

すきだから

ぼくはクワガタのおかあさん

岩手県北上市立東桜小学校二年

伊藤

悠翔

ぼくは、クワガタのおかあさんになった気がするよ。

なぜだかわかる？

まい日、えいようが入っている水をあげているから、おかあさんになった気分になる。

あと、ときどきゼリーもあげている。

ゼリーは、なに味が好きなの？

フルーツ味？

こくとう味？

ヨーグルト味？

いっぱい食べてつよくなってね。

おちばのおふとんは気もちいい？

カゴの中の気おんはちょうどいいかな？

きのうは、さわっておこらせちゃってごめ

んね。

おかあさんになるってむずかしいけど、たのしいなあ。

おかあさんのおなかはあんしん

岩手県北上市立東桜小学校二年 戸田^{とだ}いちか

おかあさんのおなかはあんしんします。

うれしいことやかなしいことがあると、い

つもおかあさんのおなかにとびついてわら

ったりないたりしています。

かっている二ひきのねこも、おかあさんの

おなかの上でよくねています。

すぐく、気もちよさそう。

二ひきとも、おかあさんのあったかいおな

かを思い出して、あんしんしているのかな？

これからもずっと、おかあさんのおなかで

じゅんばんこして、あんしんしようね。

やくそく

愛知県名古屋市立八事東小学校 三年

藤本 ふじもと

千尋 ちひろ

横は大の字2人分 たてはばんざい1人分

広いベッドのはしつこで

かかはいつも細くねる

わたしと ととと 弟が

自由に大の字する横で

かかは今日も細くねる

夏は暑くて ふとんをけって

冬は寒くて ふとんをとって

ねむくなるまで ごろごろ ころころ

ベッドを泳いでいたはずなのに

朝には わたしも 弟も

ちゃんとふとんの中にいる

「たまたまよ」って かかは言う

毎日たまたま気づくから

わたしと弟 ついでにととの

場所やふとんを直すって

「さくの役」って かかは言う

みんなが落ちたら大へんだから

いつもはしつこでねてるんだって

「せまくない？」って かかは聞く

かかが1番せまいのに

もっと細くくなって聞く

今度のかかのお休みに

まくらを少しずらしちゃおう

夜中に起きて 引っぱって

かかを真ん中にねかせよう

めざまし止めて　そおっと起きて
広いベッドをプレゼント

このゆめだけは　ねむらず見ると
今日も細くねるかかにちかうよ

お母さんとわたしのちがひ

岩手県北上市立南小学校三年

菊地きくち

梨桜りお

お母さんは、いっぱいことばをしゃべっている

わたしは、あまりしらない

からだの大きさもちがう

かみのけのいろもちがう

できることの数もちがう

ふくのこのみもちがう

考え方もちがう

だけど小学校三年生のときのお母さんは、

今のわたしとぜんぶおなじで

にているんだって

いやな気もするけど

いい気もするな

子ども ときどき お母さん

大阪府創価学園関西創価小学校 三年

田代 たしろ 美幸 みゆき

わたしにはいとこが六人いる

みんなわたしより年下

みんなが集まると少し大きい男の子たちは

公園でサッカー、小さい子たちはわたしのと

ころによってくる

みんなとてもかわいい

「おんぶして」「いっしょにあそぼう」

「お茶のみたい」

みんな口々に好きなことを言う

わたしは小さいお母さん

小さいお母さんは大好きな子どもたちのた

めにあっちへ、こっちへ走りまわる

「トイレいきたい」「お茶こぼれた」

「ねえ、もっとだっこして」

子どもたちはかわいいけど、お母さんって
なかなかたいへんだ

あ、おもちゃのとりあい

けんかがはじまった

あ、二人ともなき出した

子どもたちってかわいい時ばかりじゃない

ちよつとつかれてきたわたしのそばで子ど

もたちがおひるね

ねがおを見ているとやっぱりたまらなく

いとおしくなる

だから「小さいお母さん」はやめられない

子どもたちといっしょに休けい

!!

わたしもわたしのお母さんのそばに行つて

ほっとひといき

安心して心がほわっと温かくなる

やっぱりわたしも大きくなったら本当のお

母さんになりたいな

でももう少し甘えていいよね

今はまだ子どものままで、ギョツとして

子どもたちがおきてくるまで、エネルギー

チャージさせてね

ひっこさんはお母さん

岩手県北上市立いわさき小学校三年 千田^{ちだ}あかり

ひっこさんは九十三才で星になった

ひっこさんはわたしの

お母さんのお父さんのお母さん

わたしが生まれたときからひっこさん

だけどひっこさんも

わたしと同じように小学生だったし

わたしのじいちゃんが生まれて

お母さんになって

わたしのお母さんが生まれて

おばあさんになって

そしてわたしが生まれて

ひっこさんになった

なんだかちよつとむずかしいけれど

数え切れないほどのごせんぞさまが

お母さんになって

おばあさんになって

ひっこさんになって

いのちをつないできたのかな

いつもやさしく、お母さんみたいに

ごはんを作ってくれたり

おんぶしてくれたり

おふろもいっしょに入ってくれた

ひっこさんのようにわたしも

長生きするね

おこつてくれてありがとう

岩手県北上市立黒沢尻西小学校 四年

高館^{たかだて}

すみれ

心配かけないようがんばるね
心配だったらおこつてもいいよ
ママの前では言えないけど
心の中でそう言った

私のママ

おこっている時は口びるをかむ

私のかみを強く結う

どうしてそんなにおこっているの？

悪いことしたのは分かっているけど

どうしてそんなにおこるのかなあ？

パパに聞いたら

「きつと、ママはすみを心配してるんだよ」

と答えた

その日からママのおこっている顔が

さびしそうで 悲しそうな顔に見えた

私を産んでからずっと

おこつてくれてありがとう

ママがママでいるために

お母さんの手

岩手県北上市立黒沢尻北小学校 四年

古館ふるだて

創亮そうすけ

ぼくのお母さんは手が大きい

その手はいつもぼんそうこだらけ

いっぱいいきずもある

ねる前はいつも手ぶくろをしている

手をつないだ時はなんだかがサガサしていた

なんでだろう

ある日お母さんがかみを切ってくれた時

シャンプーをしてくれた

ふわあーと力がぬけて気持ちよかった

あの手はこんな気持ちにしてくれるんだ

手から何かパワーを出しているのかな

なんだかお母さんの手、ちよつとかっこいい

日曜日の練習試合

岩手県北上市立笠松小学校 四年

高橋^{たかはし}

柁真^{とうま}

日曜日の野球の練習試合

ぼくはシュートを守っていた

自分の方向に白い点が落ちてきた

グローブをタイミングよく出して

白い点をとった

「スリーアウトチェンジ。」

しんぱんが言ったとたん

ほっとしてベンチにもどった

「とれてよかったね。」

「ありがとう。・・・」

「次の先頭打者ぼくだからもういくね。」

「いってらっしゃい。がんばってバットふっ

ておいで。」

ぼくはうれしかった

試合は二対一でぼくらが勝った

家に帰ってお母さんは昼ごはんを作っている

なぜかあの一言を思い出し

ぼくは

エプロンをつけているお母さんを

「ぎゅっ」とした

いたずら母さん

岩手県北上市立飯豊小学校 五年

金田 かねだ
和 なごみ

私のお母さんはいたずらが好き

こっそりかくれて

私がおると

「わあ」とおどろかせてくる

私はしんぞうがとびでるぐらいびっくりする

いつもやられてるのに毎回びっくりする

お母さんはそれを見て

げらげら笑う

笑っているお母さんを見て

私もげらげら笑う

びっくりするけど楽しい

まだいたずらはこれだけじゃない

私がおねっころがっていると

足のうらこちよこちよしてくる

私は足のうらをこちよこちよされるのが苦
手

くすぐったがつてる私を見てまたげらげら
笑っている

本当に私のお母さんはいたずらっこ
そんないたずら母さんが私は大好き

大好き勝負

岩手県北上市立飯豊小学校 五年

吉田 よしだ

悠瑠 はる

弟と弟は勝負の毎日

どっちのほうが大好きかを決めている

大好きを言い続けて勝ったほうのママ

ママはいつもとり合いされて

とてもつかれそう

「おれじゃだめ」と聞いてもやだばかり

ぼくはそんなつかれたママを休ませたい

だからぼくはそんな二人をあやすんだ

お母さんのなやみごと

岩手県北上市立東桜小学校 六年

菅原^{すがわら}

彩乃^{あやの}

と私

そしたらいつのまにかお母さんと私で笑っていた。

「ほら やっぱり笑顔になった。」

「ねえ どうしたらいいと思う？」

お母さんが聞いてきた

「うーん そこまで考えなくてもいいん

じゃない？」

テレビを見ながら私は答えた

「ねえ どうしたらいいかな。」

また次の日お母さんが聞いてきた

なんで私に聞くんだろう

「なんであやのにだけなやみを言うの？」

「あやのと話すだけで笑顔になれるし

しんけんを考えてくれるからだよ。」

とお母さん

「でも そこまでしんけんを考えられて

ないよ。」

母の思いを背中に

岩手県北上市立上野中学校一年

フンラムウインニュー

道場の空気がピリツとする

母親の「頑張れ」の一言が心に響く

その一言がいつも支えになる

白い道着に染み込む汗

稽古の後 夜遅くまでの自主練

一言文句も言わず送り迎えしてくれる

「とにかくやり切れ」といつも言う

大会の日 私の頭は真っ白

バシッ 両手で思っいきり背中を叩く母

言葉はないが母の思いが伝わる

ようし 行くぞ！

母からのパワーも加わって

ヤァー いつも以上に声も出る

バシッ 決まった

入賞だ！

ありがとう お母さん

おかげでここまでこれたよ

マザコンの何が悪い

群馬県 玉村町立玉村中学校 一年

小暮^{こぐれ}

颯斗^{はやと}

ボクは今日もかわらず
ママが大好きだ

ボクはママが大好きだ

中学生になりあまり言えない

ボクは、はずかしくないけど

からかわれるのはイヤだ

だから家の外では、かくしてる

みんなだってママの事好きはずだ

なのになんでみんなからかうんだ

ママのご飯が一番おいしいだろ

ママに抱きつくと安心するだろ

ママが一番理解してくれるだろ

そのうち思春期で

ママが嫌になるかも知れない

だから今は

マザコンでもいいじゃないか

月を見て

岩手県北上市立和賀西中学校二年

高橋^{たかはし}

紗英^{さえ}

家の窓から満月が見えて

「お母さん！月がすごくきれい！」

「どれどれ！」

台所から月が見えて

「さえ！月がきれいだよ！」

「本当だ！」

何回でも月がきれいと

報告しあう

お支払いはスマイルで

千葉県我孫子市立布佐中学校 二年

児島

怜奈

お母さんは言った

「節約しなきゃ」

私はいう

「お母さん美容院に行ったら？」

でもお母さんはいう

「うーん、時間ができたらね。」

「たまにはカフェでも行ったら？」

「家で淹れるから大丈夫。節約しなきゃね。」

「ネイルサロンには行かないの？」

「うーん、仕事でネイルできないからね。」

「肩が痛いならマッサージ屋さんに行けば？」

「うーん。」

お母さんは毎日忙しい

だから私と妹は考えた

私達は時々カフェ店員になり、コーヒーを淹れる

時々美容師になって髪を洗う

時々マッサージをして、足だけネイルをして

あげる

お母さんは言った

「代金払おうか？」

私はいう

「毎日色々してくれるお礼だから代金はいら
ないよ」

「じゃあお支払いはこれで」

お母さんとはびっきりのスマイルをくれた。

ママ呼び

兵庫県灘高等学校 一年

中ノ瀬

蓮人

「まだママって呼んでるの」

クラスの友達がそう言った

「そんなわけないよ」とごまかした。

「ただいまお母さん」

ママが目をぱちくりさせた

「おかえりなさい」とほほえんだ。

「何かあったの」

ママが僕にそう言った

「何もないよ」とごまかした。

「ママ、しょうゆ」

パパがママにそう言った。

「ママじゃなくて、お母さんね」と強がった。

「ママって呼ばないのか」

パパが僕にそう言った。

「もう子供じゃ無いもん」と強がった。

「大きくなったな」

パパが僕の頭をなでた

「こそばゆいよ」と体をひねった。

でも やっぱりママはママだ

ママ呼びは なんにも変じゃない

ほんとはママって 呼びたいけれど

ヒヨコだって ニワトリになる

アオムシだって チョウチヨになる

オタマジャクシだって カエルになる

僕もきつとそんな感じだ

今日は特別な日に なりそうだ